

# しらかべ

2020年6月1日 人権・同和教育部発行



## コロナ禍の中で

まもなく梅雨入りを迎える頃となりましたが、若葉を通り抜けて吹いてくる風がまだ心地よく感じます。保護者の皆様におかれましては、日頃から本校の人権・同和教育にご理解とご協力をいただき、感謝しております。

さて、今年3月初日から臨時休校に入ってから、4月上旬のわずかの期間を除いて学校は、主役である生徒のいない春の季節となってしまいました。本来ならば新学年を迎えて学習活動や行事、部活動を行うには最高の季節であるにもかかわらず、私たち教員は生徒のみなさんと活動できないことに言葉にならない無念さを感じてきました。ここにきて一定の収まりが見られるようになったことで、ひとまず学校再開となったことを喜んでいるところです。しかしだれもがマスクをつけていて、向き合う者同士お互いの表情をなかなか見ることができないもどかしさを感じながらの「新学期」でもあります。昨年人権講演会で話くださった宮本延春さんの言葉をお借りして言えば、日常の学校生活や、近い距離で顔を合わせて話をするという「あたり前」が、こんなにも「有り難い」ことだったのかと感じずにはられません。

そしてこの数か月にわたりテレビで報じられるニュースには「新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けて」といった言葉が必ずと言っていいほど添えられています。コロナに私たちの社会が振り回されている状況です。その中で悲しいことに人権を侵害するような出来事もよく聞かれました。最初の頃は外国から来た人たちが、そして感染が拡大するにつれて、感染してしまった人たちや病院でいつも以上に緊張を強いられている医師や看護師など、医療従事者のみなさんが差別的な扱いを受けたというニュースがたびたび聞かれました。また県外ナンバーの車が傷つけられるという被害もありました。未知の病気や、重症や死に至る恐れもあるという病気にはだれもが罹りたくないと思うのは当然です。しかし必要に応じて外出したり人と接したりしながら生活していかなければならないのはみな同じで、だれもが感染する可能性があります。その可能性を少しでも小さくする努力を、それぞれができる範囲で、また生活や気持ちのバランスをとりながら行っています。そういう中で、人に向ける言葉やふるまいが「排除」の気持ちや意味のこもったものになると、まさにそれが「差別的」な刃となって人を傷つけてしまいます。どうかそのような言葉やふるまいがもうこれ以上出てほしくありません。重症化が怖いから罹りたくないという以前に、いじめや差別、中傷が怖いから罹りたくない和人々が考えるような社会であってはいけないと思います。

新型コロナ感染に効果のあるワクチンは今のところまだ開発されておらず、これからの第2波、第3波の感染拡大も危惧されています。これまで身近な地域や学校で生徒が感染したという事例は出ておりませんが、もし感染者が出たとしても、一日も早い回復を、みんなで心から祈ることのできる学校や地域社会でなければなりません。

今号では、以下に本校での人権・同和教育LHRなど今年度の人権・同和教育計画や関連行事内容についてお知らせします。



分散登校で学校再開

## 1 人権・同和教育LHR及び関連行事計画

前頁ではコロナ禍と人権について書きましたが、今年度も人権・同和教育の場において、一人ひとりが人権を大切にして、自分らしく生きられる社会をつくることの大切さについて考える機会としたいと考えています。LHRの内容については、学期末に人権通信で保護者の皆様にお伝えしてまいります。

学年	実施日	L H R 主 題	配当時間 (時間)	学習目標と関連行事
1 年	6/3	「人権について考える」	1	さまざまな差別の現状を学習することで、差別とは「人が人を大切にしないこと」であることを理解させるとともに、差別解消に立ち向かう態度を身につけさせる。 ・大島青松園訪問学習会(夏休み中→中止) ・人権映画鑑賞会(12/2) ・障がい者の人権課題に関する講演会(1/20)※ ・啓発用DVDを活用
	10/14	「ハンセン病回復者の人権課題」	1	
	1/20	人権講演会「障がい者の人権課題」(仮)※	2	
	2/3	「さまざまな人権課題」	1	
2 年	6/17	「同和問題とは」	1	同和問題の歴史を学び、その中で同和問題が抱える不合理性を正しく理解させることで、自分たちの社会の問題として捉えさせる。 ・人権啓発学習会((夏休み中→中止) ・『改訂版高校生の同和問題学習』や関連DVDを活用 ・大滝昇氏による同和問題に関する講演会(11/4)※ ・人権映画鑑賞会(12/2)
	10/21	「部落の歴史Ⅰ ～部落の起源から水平社の設立～」	1	
	11/4	人権講演会「出会いと表現 ～あることをないことにしない～」※	2	
	1/27	「部落の歴史Ⅱ ～同和行政と現代の課題～」	1	
3 年	6/17	「差別解消に向けてⅠ ～就職差別を事例に～」	1	事例学習を通して同和問題の現実を学び、差別解消に向けての生き方と考え方を身につけさせる。 ・結婚差別聞き取り学習会(8/3)
	9/30	「差別解消に向けてⅡ ～結婚差別を事例に～」	1	

## 2 各種研修会への参加計画(PTA関連)

毎年、PTA役員の皆様には保護者啓発の一環で、人権・同和教育の研修となる研究大会や講演会に参加していただいておりますが、予定通りの実施や参加ができない場合も予想されます。すでに下記①の四人研大会の中止が決まりました。これまで保護者の皆様にご案内していた校内外の行事や研修が今後実施できなかつたり、ご案内できなかつたりする場合がありますことを、どうぞご理解ください。



研修会名(開催地)	開催時期	参加予定人数
① 四国地区人権教育研究大会(高知県)	7/2・3→中止	3名(含PTA2名)
② 人権啓発講演会(坂出市)	8月中旬	2名
③ 香川県人権・同和教育研究大会	10/9	6名(含PTA2名)
④ 全国人権・同和教育研究大会(新潟県)	10/31・11/1→延期または中止	1名
⑤ 私の考えを語る会(坂出市)	11/4	3名
⑥ 人権を守る坂出・綾歌ブロック集会(坂出市)	11/12	6名
⑦ 部落解放講演会(高松市)	12月上旬	2名
⑧ 人権・同和教育指導者研修会(高松市)	1/19	3名(含PTA1名)

※太字は保護者(PTA役員)の皆様に参加していただいている行事。